

交雑種雌子牛に認められた腰椎欠如奇形体の1例

須藤庸子^{1)†}

遠藤貴之²⁾

水戸部俊治³⁾

1) 山形県最上家畜保健衛生所 (〒996-0002 新庄市金沢字大道上2034)

2) 山形県庄内食肉衛生検査所 (〒999-7762 東田川郡庄内町家根合字中荒田21-7)

3) 山形県中央家畜保健衛生所 (〒990-2161 山形市大字漆山736)

(2009年10月13日受付・2010年1月20日受理)

要 約

分娩介助により娩出された交雑種雌子牛の後軀に奇形が認められたため、病性鑑定を実施した。子牛は、腰椎、仙椎、尾椎を欠き、寛骨は、全体的に幅が狭く、両側の腸骨翼が、左右密着した状態で存在していた。骨標本の観察では、第12胸椎椎弓部は前後2個の骨よりなり、剣状の第13胸椎椎体は独立して存在した。骨盤腔内臓器では、左右の水腎症と生殖器の形成不全が認められた。以上の結果により本症例を腰椎欠如奇形体と診断した。

——キーワード：寛骨，腰椎欠如奇形体，胸椎。

----- 日獣会誌 63, 364～366 (2010)

† 連絡責任者：須藤庸子 (山形県最上家畜保健衛生所)

〒996-0002 新庄市金沢字大道上2034

☎ 0233-29-1356 FAX 0233-23-2944

E-mail : sutoyok@pref.yamagata.jp